

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 6月30日

【評価実施概要】

事業所番号	3670300148
法人名	医療法人 ふじのクリニック
事業所名	グループホーム たんぼぼ
所在地	徳島県小松島市坂野町字島の内101番地1 (電話) 08553-5-7660

評価機関名	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地
訪問調査日	平成19年 6月 25日

【情報提供票より】(平成19年 6月14日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年 3月 28日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	13 人 常勤 9 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 12.5 人

(2) 建物概要

建物構造	木造 2階建ての 1階 ~ 2階部分
------	-----------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	26,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(6月14日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	4 名	要介護2	4 名		
要介護3	4 名	要介護4	2 名		
要介護5	4 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 89 歳	最低	80 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	藤野 医院
---------	-------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当該事業所は町の中心部に位置しており、周辺には農協、小中学校、医院等があり、子どもの通学や人の往来、畑作業をしている方等、地域の人々とのふれあう機会が身近にある。ホーム裏側にはのどかな田園が広がっており、地域住民の方と交流を深めながら、日々の生活の中で、気配りや目配り、声かけをしながら、楽しくその人らしい暮らしができるよう取り組んでいる。

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>利用者の個別ファイルにアセスメント、心身の状況変化等の生活状況の流れが捉えられる記録の記載が望まれていたが、運営者、管理者、職員で話し合いの結果、本年4月から「認知症介護研究・研修東京センター方式シート」を採用し、様式Eを中心に介護計画等に反映させるよう取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員は運営理念、ホームの特徴、職員の姿勢、改善点等話し合いながら自己評価に取り組み、評価の意義を深めている。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>地域密着型サービス創設に伴う運営理念の見直し及び東南海地震に備えての防災対策について討議が行われ、「地域の中で、その人らしく、安心した、生きがいのある普通の生活が営まれますよう支援します」を柱にした5つの支援目標の理念がつくられている。</p> <p>また、防災対策では消防署長を迎えて自主防災、地域の協力の大切さを学び、職員意識の共有、積極的な地域交流への取り組みに活かされている。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の訪問が常時あり、利用者の暮らしぶりについては写真を掲示しており、状況変化については口頭や電話でその都度伝え、対応等の相談をしている。</p> <p>また、管理者は苦情・相談の担当窓口となり気軽に申し出ができるよう常に声をかけているが、申し出がないので利用者の要望やヒヤリハット事項等を利用者の立場に立つてミーティングで話し合い、運営に反映させている。</p>
	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>4月に「たんぼぼフェスタ」を開催し、町の商店にポスター掲示やパンフレットの配布を依頼して、たくさんの人々の参加を得、参加者との交流やそこからの活動展開などがみられる。</p> <p>地域の運動会参加、小中学校職業体験の受け入れ、避難訓練の協力依頼、また近隣住民との近所づきあい(誕生会等行事料理のおすそわけ、手作り野菜をいただく)等、地域との交流や連携を高める取り組みが行われている。</p>
重点項目④	

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービス創設に伴う理念の見直しを行い、「地域の中で、その人らしく、安心した、生きがいのある普通の生活が営まれますよう支援します」を柱とし、目指す支援5項目を掲げた独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員は毎日のミーティングで理念の実現に向けて話し合いを行い、共有している。また、気づきや必要事項は連絡帳へ記入し、全職員に伝達して日々の業務に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	4月に「たんぼぼフェスタ」を開催。町の商店にポスター掲示やパンフレットの配布を依頼してたくさんの人々の参加が得られた。また、地域の運動会参加や小中学校職業体験の受け入れ、近隣住民との近所づきあい等、積極的に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が評価の意義を理解し、ミーティングにおいて評価結果及び自己評価について話し合い、改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では利用者やサービスの状況報告のほか、懸案事項等の話し合いを行い、4月には地震に備えての自主防災について、消防署長を交えて自主防災への取り組みが話し合われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険課、福祉事務所担当者と情報の収集や相談等連携を密にして協力関係を築きながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問が常時あり、利用者の暮らしぶりや健康状態が伝えられ、状況変化時にはその都度家族に連絡し対応等の相談をしている。また、行事等の写真が居室や居室前に掲示され利用者の参加の様子が伝えられている。金銭管理は個人ごとの金銭出納帳に家族の押印等がされている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者が苦情・相談の窓口となって入居時のほか家族の訪問時に気軽に申し出てくれるよう声かけをしている。苦情の申し出がないので利用者の要望やヒヤリハット事項等、利用者の立場に立ってミーティングで話し合い運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者・家族の信頼関係を築くため馴染みの職員が対応することが重要と考えており、各ユニットの職員は固定化している。やむを得ない事情で異動する場合は利用者にきちんと紹介するなどして納得をいただいている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員採用時研修のほか、交替して外部研修にも参加できるよう体制をとっている。また、日々のケアの中で発生する問題については、直ちに文献から抜粋等して知識や技術を身に付ける学習をしている。管理者は毎月法人関連事業所合同カンファレンスに出席し、情報収集や意見交換を行い職員に伝えている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人関連事業所ほか、他事業所との相互訪問・職員との親睦交流が行われており、問題の共有や情報収集等、交流を通してサービスの質向上への取り組みが行われている。	○	他事業所との相互訪問等、交流、情報の収集や職員のモチベーションの高揚等が図られているが、さらに継続して利用者へのサービスの質向上に活かされる取り組みを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービス利用前に施設見学を行ってもらい、スタッフも利用者の自宅に向いてコミュニケーションを図りながら、本人・家族が納得して利用できるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常の家事等の手伝いをする中でお互いに支えあう関係が築かれており、職員は常に謝意の言葉を伝えている。また、季節の行事や畑仕事等では利用者に教えてもらうことが多く得意分野への配慮や工夫が行われている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で言葉や表情などから思いを推し測ったり声かけをして希望や意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	昼食後、毎日ミーティング・カンファレンスを実施し、利用者の状況変化や本人・家族の意向に沿った支援ができるよう職員間で話し合い、介護計画の作成に活かしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の実施期間に応じた見直しと共に、利用者の状態変化に応じて本人・家族と相談し、許可を得ながら見直しが行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院や送迎等利用者への柔軟な支援はもとより、近隣の高齢者が状況に応じてショートステイやデイサービスの利用ができるようにホームの多機能性を活かした柔軟な支援がされている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望に沿ったかかりつけ医に受診できるよう、通院介助・点滴の付き添い・往診依頼等の支援が行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人にとってどうあったらよいか、ホームが対応しうる最大の支援方法を踏まえた方針を本人・家族・職員で話し合い、かかりつけ医と連絡を密にしながら重度化や終末期に向けた取り組みが行われている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや態度をとらないよう徹底し、気付いたことはその日のミーティングで話し合い、職員の意識向上を図っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は常に一人ひとりの状態や思い等を見守りながら把握し、利用者のペース・希望に合わせた支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は旬の物を取り入れ、調理・食事・後片付け等を利用者と職員が一緒になって行っている。食事中は、味付けや調理時の話しなど楽しみながらさりげなく支援が行われている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	浴槽・シャワーの使用、入浴時間・順番など一人ひとりの希望に合わせて支援されている。入浴を嫌う利用者には本人の興味あることと結び付けるなど、その都度工夫をしながら入浴を楽しめるよう支援が行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴を活かした家事手伝いや野菜作り・趣味など、役割・楽しみごとを負担にならない程度にお願いしたり、気晴らしの場づくりが行われている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物、通院など利用者の体調に合わせて外出の機会をつくり、戸外に出られるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は常に利用者の見守りができる場所において、他の業務中さりげなく気配りし、落ち着いた無いや帰宅願望の強い利用者には特に見守りや傾聴助言をするなど工夫しながら、居室・玄関には鍵をかけないケアをしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災や地震に備えてマニュアルを作成し、全職員が把握するとともに年2回避難訓練を実施している。地域の代表者・消防署長を囲んだ運営推進会議でも地域の人々の協力の大切さが話し合われ、地域との交流を大切に活動に取り組んでいる。	○	地震等災害に備えた飲料水、保存の利く食料品等の備蓄を考えられている。避難訓練とともに地域防災関係者・住民への働きかけ、職員の防災意識の向上等の取り組みに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	母体法人栄養士の指導を得ながら献立を立てている。利用者の体調に合わせてきざみ食や季節の果物等も用意して食が進むような配慮が行われている。水分確保にも食事時、おやつ時、夜間等に気配りされている。食事摂取量は大まかな記録がされており職員は共有している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関前庭に、たくさんの草花が植えられ、食堂・居間等には季節の花や掛け軸、テレビ、ソファ、椅子、テーブル、かけ時計、カレンダー等、家庭と同じような調度品が整えられ、台所からは炊事の音が聞こえる等、家庭的で居心地よく過ごせるよう設備や工夫ができています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具や好みの物・大切にしている調度品が置かれて、思い思いの部屋づくりがされている。		